

「全鍍連」2024年11月号 巻頭言

全鍍連 監事 二木 正之 (有)二木工業 代表取締役)

「業界に対する考え！」



今年もあとわずかとなりました。この1年間、皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。11月は季節の変わり目で、朝晩の気温の差が大きくなり我が安曇野では寒い朝を迎える日もあります。皆様体調管理にご留意ください。また、年末に向けての業務も本格化してくる時期です。限られた時間の中で効率的に仕事を進めていく必要がありますが、ストレスのない働き方を心がけましょう。

今回は僭越ではありますが、全国鍍金工業組合（以後、全鍍連）活動について私なりにまとめさせていただきました。

全鍍連は鍍金業界の健全な発展を目的とした組織です。組合の考え方と活動について。

- 環境への配慮

化学薬品の使用や排水処理など、環境への配慮が重要です。組合は、関連法規の遵守と、より環境にやさしい鍍金技術の開発・導入を推進しています。排水処理設備の共有化や、省エネ機器の導入支援など、環境負荷の低減に取り組んでいます。

- 技術の向上と競争力の強化

鍍金技術の高度化は、製品の高品質化と生産性の向上につながります。組合では、最新の鍍金技術に関する研修会の開催や情報提供を通じて、組合員企業の技術力向上を支援しています。また、海外展開支援や受発注マッチングなど、企業の競争力強化策にも注力しています。

- 人材の確保と育成

鍍金業界の技術継承と人材確保は大きな課題です。組合では、若手技術者向けの研修プログラムの企画や、教育機関との連携による人材育成に取り組んでいます。また、働き方改革の推進や、魅力ある職場づくりの支援にも力を入れています。

- 適正取引の推進

鍍金業界では、取引慣行の改善が求められています。組合は、適正な取引条件の設定やサプライチェーン全体の利益確保に向けた活動を行っています。適正利潤の確保と、中小企業の経営安定化を目指しています。

- 組合活動の強化

組合の活動基盤を強化するため、組織運営の効率化や会員拡大にも取り組んでいます。業界全体の利益につながる政策提言や、関係機関との連携強化にも注力しています。

すなわち全鍍連は、鍍金業界の持続的な発展を目指して、様々な課題に取り組み、環境保全、技術革新、人材育成、取引適正化など、幅広い分野で組合員企業をサポートし、業界全体の競争力強化を図っています。

皆さんどこに対しても強い団体となるよう、力を合わせていきましょう。